

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月			
平成15年度	事業コード	14125	電話	042-769-8285
担当部課名	学校教育部	青少年相談センター		
事務事業名	教育相談研究員経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	63以前年度
施策名	第2施策	教育相談の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市教育相談研究員の職務に関する要綱
----------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
教育相談研究員6名を委嘱し、教育の改善・向上を目指し、教育相談の当面する諸問題や将来展望に立った課題を取り上げ、組織的・計画的な研究を行う。研究成果は、教育研究発表大会や研究収録にまとめ公表することにより不登校児童・生徒対策の一助とし、併せてカウンセリングマインドを備えた教職員の養成を図る。	市立小・中学校教職員
	対象数 6名
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
教育相談研究員委嘱者6名 委嘱期間 2年(毎月2回研究員会開催) 研究収録750冊を作成し、市内小・中学校及び関係機関に配布 おもな経費 報酬 454 千円 研究収録発行 103 千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	なし							
活動指標								

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	610	595	587	607	607
人員・時間数	1人・160時間	1人・160時間	1人・160時間	1人・150時間	1人・150時間
人件費	669	669	669	627	627
その他経費					
合計	1,279	1,264	1,256	1,234	1,234
特定財源					
対象数					
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	研究に必要なカウンセリングの力を身につけながら研究の視点を洗い出し、課題を整理しながら研究員相互の研究を深めてきた。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 予防的視点から多角的に児童・生徒指導のあり方を探ってきた。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	毎年夏に行われている教育研究発表大会で多くの参加者の前で研究内容を発表している。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 年間20回2年間継続により計画的に研究を進めている。
(5)公平性 評価 ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	事業の性質上評価できない
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 今後もカウンセリングの技法を学び、自己の資質の向上を図るとともに、研究成果を校内で十分生かしていくことが必要である。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 他の自治体ともおおむね同様である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	学校における不適応児童・生徒は増加しており、今後も予防的視点から多角的に児童・生徒指導のあり方を探る必要性が高まっている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

他の研究員経費との整合を図りながら見直しを検討すること
-----------------------------